

# 私にとっての「日本ラーメン協会」とは



## 「個人では成し得ないフラットな交流が魅力」

2014年入会 東京都 塩つけ麺 灯花 川瀬 裕也 さん

とある会合に来ていた協会関係者の方とお話したのが、日本ラーメン協会へ入会したきっかけ。それまでは協会自体をよく知らなかったのですが、たまたま翌週にあったラーメン産業展と納涼懇親会に飛び入り参加したことで協会の方向性や理念に共感しました。一番助かっているのは、会員店主の皆さんや先輩方との活発な交流を促してくれること。経験の浅い私のような立場にとってこれはとても大きなことです。会の雰囲気も参加しやすく、それでいて個人店主では普段関わることがないようなことにタッチできるのが協会活動の魅力です。特に、新人王グランプリの裏方を手伝わせていただいたことは、良い体験でした。

私自身も開業前に某新人大会に出場した際、何もわからず周りの出場者の方に助けられた思い出があるので、今度は私も皆さんのお役に立てばと考えています。

協会の活動に参加することで理事をはじめ、様々な会員の方とのパイプができ、活動の合間には個人的な相談をしたり、気がつけば「自分の財産」になっていました。中には興味を持っていてもなかなか参加できない方もいらっしゃると思いますが、まずは行動にうつさなければ何も変わりません。私は協会を通して業界に貢献したいという強い気持ちがあります。ラーメンが愛され、業界が盛り上がることで結果的に自分たちにも還元されるのだと思います。



## 「業界と人生の先輩方から直接学ばせてもらえる場所」

2014年入会 大阪府 麺や ぶたコング 白橋 陽輔 さん

私はもともとイタリアンで3年ほど修行していて、特に「ラーメン屋をやりたい」と考えていたわけではありませんでした。ですが、たまたま協会が主催する第1回新人王グランプリの話をいただく機会があり、出場を決意。予選ではすっぽんを使い、決勝では「ぐじ塩ラーメン」で勝負して、グランプリをいただきました。このとき、今のメインメニューのひとつ「鯛塩ラーメン」が完成したことを考えると、私にとってはまさに人生の転機となるイベントだったわけです。このイベントをきっかけに、日本ラーメン協会の理事の皆さんにはすごくお世話になり、勉強させていただいています。その受けた恩の何分の一かでも還元できたら、

こんなにうれしいことはありません。

将来的には、何年かかるかわかりませんが、夢の舞台に立たせてもらった者として、後進が輝けるステージを作っていきたいと思っています。私は大阪でがんばっていますが、ビッグイベントの際にはいつでも馳せ参じてお手伝いさせていただきます。そして交流に情報発信に、関西を盛り上げ、一緒に輪を作っていきたいです。



## 「同じ境遇の店主同士だからこそ悩みも打ち明けられる！」

2008年入会 東京都 ラーメン風 生田 智志 さん

協会の立ち上げ時に入会し、今年で9年目です。5年目には理事にも3年ほど就任させていただき、様々な経験をさせていただきました。協会に入会して良かったことは、仲間との「出会い」です。私自身、気難しいと見られることも多く、社会的に人との関係を築くことが苦手でした。しかし、協会の活動を通じていろいろな方々と知り合い、また理事の任務を通じて苦楽を共にしたことは、お店を経営するだけでは味わえない達成感がありました。

よく店主は孤独だといわれますが、私はそう思うことは一度もありません。店主だからこそその悩みや迷いは、確かにスタッフや友人では共感を得られないでしょう。しかし、協会のように定期的に同じ境遇の店主達に会える場があれば、安心して打ち明けられるのです。私もたくさんの先輩や仲間と相談しました。そして、たくさん助けていただきました。これからは助ける側としても、微力ながらお役に立てればと思っています。今の自分があるのも、この協会があったからといっても過言ではありません。協会は視野を広げ、自分のポテンシャルを引き出してくれる仲間が見つかる場だと思います。「とりあえずやってみる！」が私の信条です。迷っている方には、ぜひ入会をお勧めしたいと思います。



一般社団法人  
日本ラーメン協会  
**入会のご案内**  
—活動概要ガイド—

一般社団法人 日本ラーメン協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-12-14 日本橋ケーエビル5階

電話:03-6661-7444 FAX:03-6231-1444

ホームページ:<http://www.ramen-kyokai.jp> Facebook:<https://www.facebook.com/ramenkyokai/>

設立年月日:2008年4月1日 会員数:約550会員(2016年3月現在)



ホームページ



Facebook



### 3大「ラーメンショー」の開催

日本3大ラーメンショーと称されるのが「東京ラーメンショー®」「福岡ラーメンショー®」「札幌ラーメンショー®」。日本ラーメン協会は主催として出店店舗の選定を行うとともに、多彩な企画やステージでイベントを盛り上げています。イベントの認知向上に努めるのももちろんですが、協会主体の様々な企画を通して、会員同士の情報発信や交流の場を積極的に提供。老舗店や有名店の店主と一緒に活動ができるチャンスとなっています。また、たとえば福岡なら海外からの観光客が多く訪れるなど、他府県のイベントには地の利ならではの特色がそれぞれあります。参加してみることで今後の店舗展開やラーメン作りのヒントになるものを肌で感じられるはずですよ。

※「ラーメンショー®」「東京ラーメンショー®」は日本ラーメン協会の登録商標です。



### 人材発掘・育成

日本ラーメン協会が力を入れている企画のひとつが「新人王グランプリ」。まだ店になっていない人材にスポットを当てた若きラーメン職人たちが参加するコンテストです。書類選考・面接・予選・決勝という激戦を経てグランプリのチャンピオンを決定します。決勝は東京ラーメンショーのステージで人生をかけた熱戦が繰り広げられます。また2015年の東京ラーメンショーでは、過去3回の歴代王者たちがブースを出店し、話題となりました。



### 地域との連携・交流

日本ラーメン協会は「地方ブランド」に注目し、ご当地ラーメンの味を全国に普及すべく他府県でのセミナーや食べ歩きツアーを積極的に開催しています。歴史ある地方食材の良さをラーメンから発信しています。



【過去開催のエリア】

- 2012年 秋田
- 2013年 高知、長野、福岡
- 2014年 山形、福岡
- 2015年 大阪

### セミナーの開催

会員から課題としてあがるその時々テーマに基づいて、講師を選定し、協会プロデュースのセミナーを行っています。人気店が今の地位を築いた「ノウハウ伝授」だけにとどまらず、慢性的な課題の「人材育成」やタイムリーな「訪日外国人対応」など、テーマは多岐にわたります。参加しなければ耳にすることができない、リアルで実践的なヒントが盛りだくさん。また、賛助会員が講師となり、ディスカッション形式で活発な意見交換ができる少人数制のワークショップ型の勉強会も不定期開催しています。

【2015年開催の主なセミナー】

- つけめんTETSU店主 小宮 一哲氏「企業価値を500倍にした成功の哲学」
- 拳ラーメン店主 山内 健吾氏「京都ラーメンの伝統と進化」
- ちばき屋店主 千葉 憲二氏「ラーメンにおける美味しさの方程式」
- ソラノイロ店主 宮崎 千尋氏「インバウンドマーケティング戦略」
- 麺や七彩店主 阪田 博昭氏「『ラーメン』が必要とされている本当の理由」



日本ラーメンファンクラブ  
コンシェルジュ  
レンゲちゃん

# 100年先を見据えた 日本ラーメン協会の役割とは

日本に伝えられて100年以上、そこから幅広い年齢層に拡がり、今では日本の国民食にまで成長した「ラーメン」。日本ラーメン協会は、日本独自のラーメン文化を支えるラーメン産業の振興と発展を担うために設立されました。市場の動向は早く、今やラーメンは「百花繚乱」の時代。規模が大きくなるにつれ、担い手の減少や価格高騰の影響といった産業を揺るがす時代に陥る可能性も免れません。しかし私たちは、業界の結束をもってすれば困難な危機をも乗り越えられると信じています。作る側と食べる側、そして企業とメディアすべての力がそれを可能にするのです。私たち日本ラーメン協会は、この先も100年続くラーメン業界のために、その結束の旗振り役と仕組み作りを支援していきます。趣旨にご賛同いただき、一緒に業界を盛り上げていきましょう。

## ミッション1 「質を上げる」 品質向上

「本物のラーメン」を追求し続けることを使命とします。

## ミッション2 「数を増やす」 市場拡大

高品質なラーメンを提供する場をより一層増やすことを目指します。

### 業界内 交流会の開催

年に3～4回、全国のラーメン店主・関連企業・食べ手の方々が業界について語る交流の場を設けています。年末に行われる納会は、1年の締め括りとして3大ラーメンショーの慰労会も兼ねたもので100名以上が集結。協会活動へ積極的に携わっていただいた方には感謝状を贈呈しています。これだけ幅広い業界関係者に会えるのは、日本ラーメン協会会員ならではのメリット。あなたの人脈作り大いに役立ててください。

【主な交流会】

- 2月 賀詞交歓会(東京)
- 5月 関西大懇親会(大阪)
- 8月 納涼懇親会(東京)
- 12月 納会(東京)

### 情報の発信

会報誌「ラー協だより」の発行、公式ホームページの更新、メルマガの発行、Facebookの活用など日本ラーメン協会は意欲的に情報発信をし続けています。また、公式ホームページから見ることができる「活動トピックス」では、過去のイベントで催された内容も閲覧可能。有益な情報を上手に取り入れれば店舗運営に活かすことができます。



### 産業の支援

毎年12月に行う「年の瀬ラーメン®」は、「師走の忙しい時期を栄養価の高いラーメンを食べて乗り切ろう」という企画に賛同した店舗がそれに相応しいメニューを提案する日本ラーメン協会発信の企画。また、外食ビジネスの一端として行われる「ラーメン産業展」への協力など、様々なアプローチで産業活性を支援しています。



### 「日本ラーメン ファンクラブ」の設立

日本ラーメン協会が新たな取り組みに向けてスタートしているのが食べ手による「ファンクラブ」の設立。「100年先も、おいしいラーメンを食べよう!!」をキャッチフレーズに掲げ、ラーメン文化の継承と発展を食べる側から盛り上げていくことを目的としています。ラーメンに精通した食べ手代表で運営メンバーを発足し、ゆくゆくは幅広くラーメンファンが集うコミュニティを開発。2017年の正式発足をご期待ください。  
<https://www.facebook.com/ramenfanclub/>



### 各省庁との連携

日本ラーメン協会はこれまで、経産省が発信している「クール・ジャパン」や観光庁との連携で「ラーメン大学」などの取り組みを行ってきました。2009年からは環境省が推奨する温暖化防止運動に賛同し、毎年「クールビズラーメンキャンペーン」を実施。冷房設定28℃でも美味しく食べられるラーメン企画を店舗から募集し、味のみならず省エネや節電をうたうことで社会貢献を目指しています。

